

Hyper S-Stage KIT (8 8 c c) 取扱説明書

このキットはノーマルのシリンダーヘッドを使用し、8 8 c c にボアアップ出来るキットです。シリンダーはセラミックメッキシリンダーを採用。ピストンにはM o (モリブデン) コートを施しています。
また、オイル取り出しが可能なボスが付いており、シリンダーのオイルラインよりオイルの取り出しが可能です。

商品番号 0 1 0 5 5 0 1 3

スーパーカブ50(FI) : AA01 1700001 ~
リトルカブ(FI) : AA01 4000001 ~

・このたびは、弊社商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

おことわり

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

▲ 使用燃料についてのご注意 ▲

SステージKITは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。KIT取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

▲ スパークプラグについてのご注意 ▲

スパークプラグは必ずCR8HSA(NGK)または、U24FSR-U(DENSO)に交換して下さい。

▲ 急発進・急加速についてのご注意 ▲

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意ください。

▲ F.I. コントローラーについての注意 ▲

キット内のシリンダー、ピストン、カムシャフトのみで使用されますとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ずキット付属のF.I. コントローラーをご使用下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所もしくは市税事務所で原付2種への変更(注:登録手順は各市町村により異なり、当説明書が必要な場合があります。)を行い、道路運送車両法の保安基準を充たし、強制賠償保険等の排気量変更の申請を行って下さい。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

この取扱説明書に記載の作業はカブの車両を主体としております。

燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

▲ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

・一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)

・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)

・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)

・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行ってください。

・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

▲ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させていただきます。正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませよう、お願い致します。

Lesson

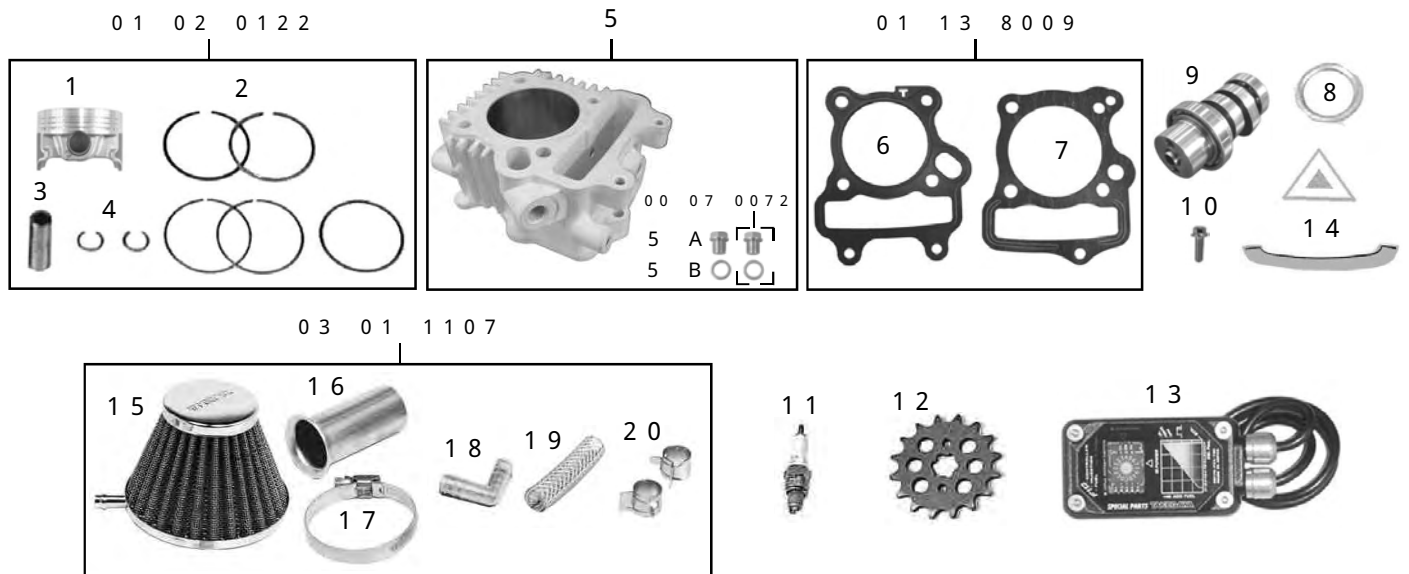
ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まる。

ネジを締める場合は最初から工具を使用せず指で締まるところまで締めます。1～2回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。ネジを緩めるということは、締まっている状態から左へ3～4回転回すことをいい、取り外すということは左へネジが取れるまで回すことをいう。

ネジを締めるということは、ネジが緩まないようにする事を締めるといえます。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのが締め付けトルクです。この説明書ではPL法(製造物責任法)によりトルクを記載していますが、トルクレンチを用意することの出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみてください。但し、弊社では責任は負いません。トルクレンチが無くてもどれぐらいの力で締めるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。

工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。

キット内容

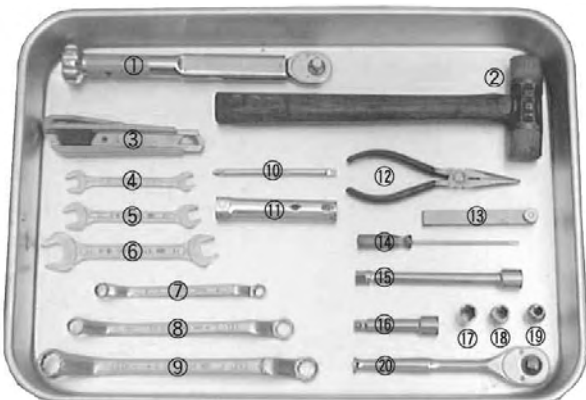


番号	部品名	個数	リペア品番	入数	番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン	1	13101 GBJ T00	1	10	フランジボルト 6×25	1	00 00 0115	4
2	ピストンリング	1	13011 181 T10	1	11	スパークプラグ	1	NGK CR8HSA	1
3	ピストンピン	1	13111 GEF T01	1	12	ドライブsprocket (プレート付) 16T	1	02 05 051	1
4	ピストンピンサークリップ	2	00 01 0003	6	13	F Iコントローラー (S Stage用)	1	03 05 0019	1
5	シリンダー-ASSY.	1	12100 GBJ T00	1	14	原付2種マークセット	1		
5 A	オイルプラグボルト	2	90145 GEY T00	1	15	エアフィルター-COMP.	1		
5 B	シーリングワッシャー 10mm	2	00 07 0010	10	16	フィルターパイプ	1	00-00-0280	1
6	シリンダーヘッドガスケット	1	01 13 8009	1set	17	クランプバンド	1	00-00-0014	1
7	シリンダーガスケット	1			18	Lジョイント 10mm	1	00-03-0207	1
8	エキゾーストパイプガスケット	1	00 01 0064	2	19	ブレードホース 50mm	1		
9	カムシャフト	1	01 08 0332	1	20	ホースクランプ 13.1	2	00-00-0049	1set

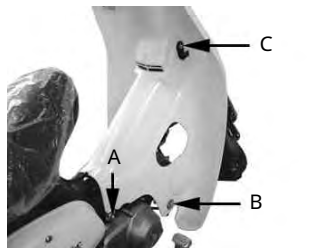
リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませようお願い致します。

取り付けに使用する工具等



1	トルクレンチ	11	プラグレンチ (車載工具)
2	プラスチックハンマー	12	ラジオペンチ
3	カッターナイフ	13	シックネスゲージ
4	スパナ 8 10	14	マイナスドライバー (極細先)
5	スパナ 12 14	15	ジョイント (中)
6	スパナ 14 17	16	ジョイント (小)
7	メガネレンチ 8 10	17	ボックスレンチ 14mm
8	メガネレンチ 12 14	18	ボックスレンチ 12mm
9	メガネレンチ 14 17	19	ボックスレンチ 10mm
10	プラグレンチハンドル (車載工具)	20	ラチェットレンチ



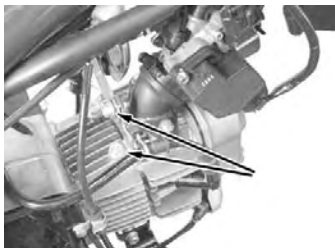
A (12 mm ぶくろナット) B、C (10 mm ボルト) を反時計回りに回して外し、ワッシャ等も同時に取り外します。左側も同様に外します。
 使用工具
 A : 12 mm ボックスレンチ
 & 中ロングジョイント
 B : 10 mm ボックスレンチ
 & 中ロングジョイント
 C : 10 mm ボックスレンチ

STD 部品取り外し

1. インレットパイプを取り外す



シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト 2 本を反時計方向に回し取り外す。
 使用工具
 8 mm メガネレンチ



ホーンステーを取り外す。
 使用工具
 10 mm メガネレンチ

2. マフラーを取り外す



E X パイプ部のナット 2 個を反時計方向に回し取り外す。
 使用工具
 10 mm スパナレンチ



マフラー本体を止めている 6 角ボルトを反時計方向に回し取り外す。
 使用工具
 14 mm メガネレンチ
 リトルカブ
 17 mm メガネレンチ



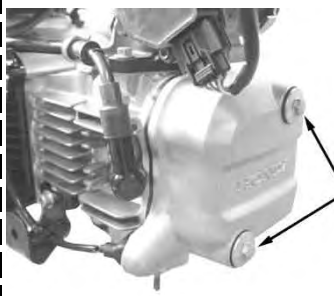
マフラーを外側に引く様にして車体から取り外す。このとき、リング状のマフラーガスケットを無くさないように注意する。

3. スパークプラグを取り外す



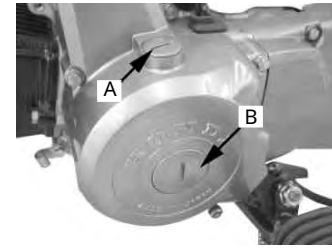
プラグキャップをプラグから引っ張って取り外す。必ずキャップ部分をつかんで引っ張って外す事。車載工具のプラグレンチを使いプラグを反時計方向に回し取り外す。

4. シリンダーヘッド左カバーを取り外す



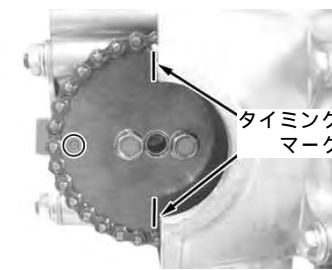
シリンダーヘッドカバーの 6 角ボルトを外し、カバーを外す。
 使用工具
 10 mm ボックスレンチ

5. クランクケース左カバー取り外す



A、B の 2 つを反時計回りに回して外します。
 使用工具
 マイナスドライバー

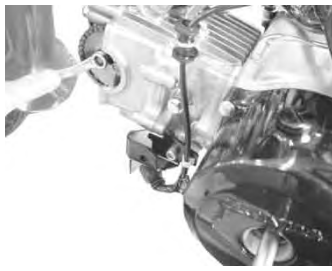
6. カムスプロケットを取り外す



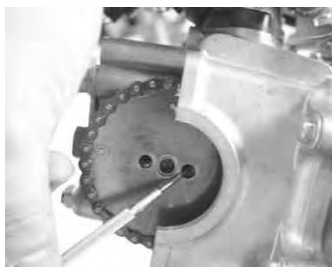
タイミングマーク



フライホイールの T マークとカムスプロケットの O マークを前方向に向け、タイミングマークをシリンダーヘッド側面に合わせ、各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。

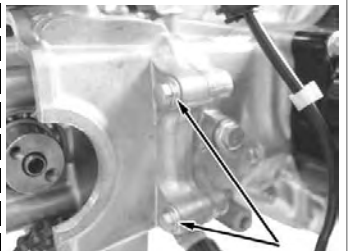


フライホイールを固定しカムスプロケット 6 角ボルト 2 個を反時計方向に回し取り外す。
 使用工具
 8 mm メガネレンチ
 14 mm ボックスレンチ & 中ロングジョイント (フライホイール固定用)

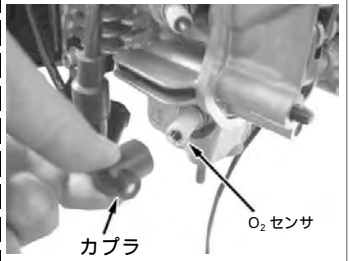


カムスプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外す。カムチェーンをカムスプロケットから外してカムスプロケットを取り出す。カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。

7. シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す



シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。
 使用工具
 8 mm メガネレンチ



カブラ

O₂ センサ

O₂ センサのカブラを取り外す。



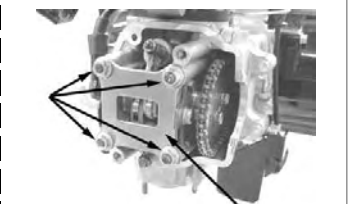
ガイドローラーボルト

サイドボルト

シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトを反時計方向に回し緩める。

使用工具
 8 mm スパナレンチ & 10 mm メガネレンチ

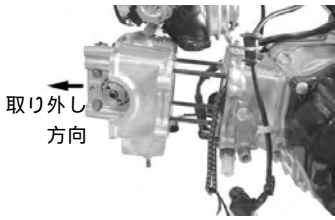
8. プレートを取り外す



シリンダーヘッドプレート

シリンダーヘッドカバーを止めているナット 4 個を対角に数回に分けて反時計方向へ回し取り外す。シリンダーヘッドプレートを取り外す。
 使用工具
 10 mm メガネレンチ

9. シリンダーヘッドを取り外す



シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。(かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)
ノックピン2個は再使用するので取り外しておく。

10. シリンダーを取り外す

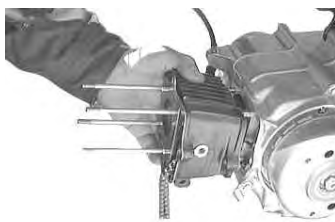


緩めておいたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。

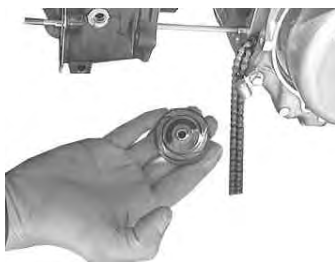


油温センサのカブラを外し、油温センサを取り外す。

使用工具
1.7mmスパナレンチ

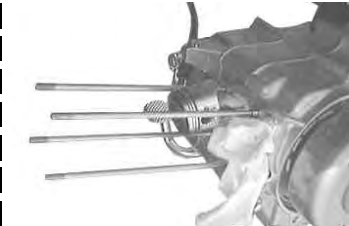


シリンダーを引っ張って取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外す)



シリンダーを抜く途中でカムチェーンガイドローラーが出てくるので取り外す。

11. ピストンを取り外す



クランクケースのシリンダーホールとカムチェーン部にゴミや部品などを絶対落とさないようにウエスを詰め込む。



ピストンピンサークリップ

ピストンピンサークリップの片側を取り外す。ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじめるようにすると外れます。

使用工具
先の細いマイナスドライバー

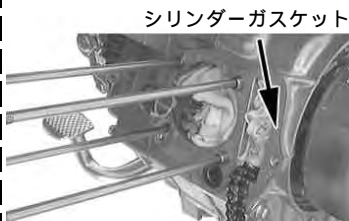


ピストンをピストンピンサークリップが付いていない方向へ取り外す。ピストンピンサークリップの付いている方向からマイナスドライバーで押してあげると簡単にとれる。



ピストンを取り外す。

12. シリンダーガスケット・ラバーパッキン・ノックピンを取り外す



シリンダーガスケット

ガスケットがきれいにはがれない場合クランクケースにキズを入れないようにスクレイパーやカッターできれいにはがす。この時クランクケースセンターガスケットがシリンダーベース面にはみ出ている場合は切り取っておく。

△ クランクケース内にゴミや部品などを絶対落とさないように。

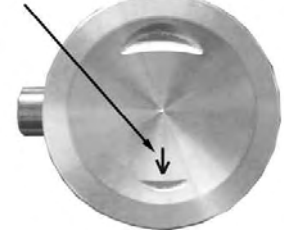
S - StageKIT
取り付け

1. ピストンを組み付ける



ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりめ込む。この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付ける。

エキゾーストマーク

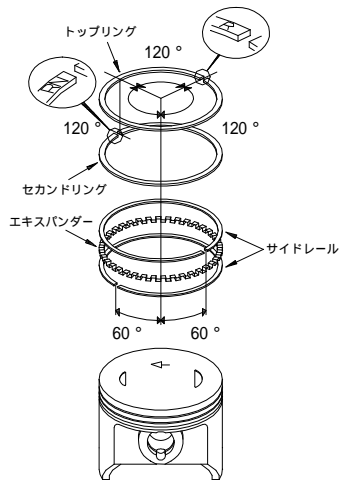


ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられます。ピストンサークリップは左側を先にはめ込みます。

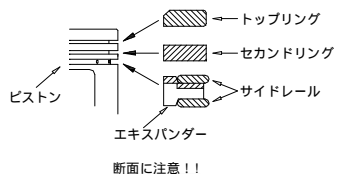
使用工具
先の細いマイナスドライバー

ピストンリング溝にエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。

ピストンリングの合い口を合わせる。



トッピングの上面にはRの刻印セカンドリングの上面にはRNの刻印があります。



オイルリングエキスパンダーを入れる。



下オイルリングサイドレールを入れる。



上オイルリングサイドレールを入れる。



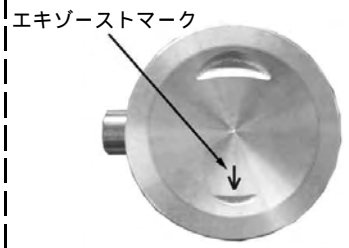
セカンドリングを入れる。



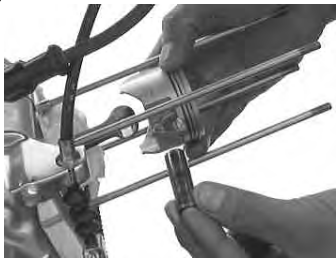
トップリングを入れる。



コンロッドのピストンピン部にオイルを塗る。



エキゾーストマーク
ピストンヘッド部矢印マークの先を下(エキゾースト側)になるようにしてピストンを取り付ける。



コンロッドとピストンにピストンピンを通す。付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。



ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付ける。サークリップの合い口は、切り欠き部を避けて取り付けてる。押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまうことがあるので慎重に行う。

△目に入らぬように防護めがねなどを着用して下さい。
作業が完成すれば、詰めていたウエスを取り外す。

2. シリンダーの取り付け

シリンダーガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。



シリンダーガスケットを取り付ける。



ノックピンが付いているか確認する。



キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。



シリンダーを入れていく。



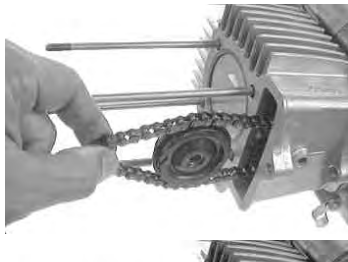
シリンダーをピストンリングの合い口がずれないようにしながら指で押し少しずつはめる。



リングがシリンダーに入ったらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースにはめる。



カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーを付ける。



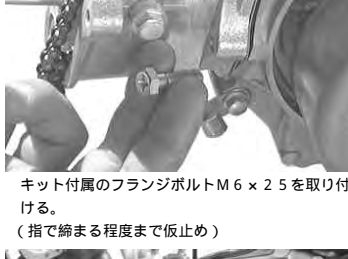
シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。



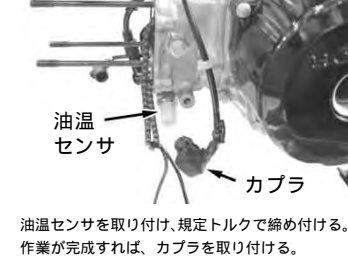
ガイドローラーボルトを取り付ける。(指で締まる程度まで仮止め)



キット付属のフランジボルトM6 x 2.5を取り付ける。(指で締まる程度まで仮止め)



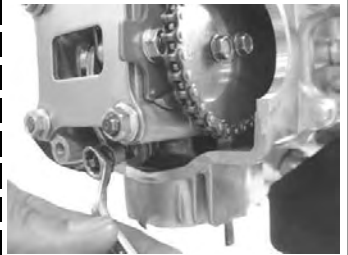
油温センサーを取り付け、規定トルクで締め付ける。作業が完成すれば、カブラを取り付ける。



使用工具
1.7mmスパナレンチ

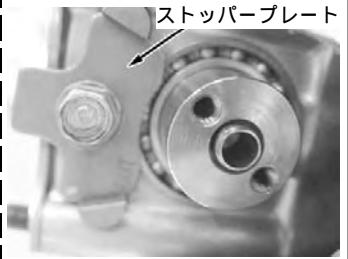
△注意：必ず規定トルクを守る事。
T = 14.5 N・m (1.5 kgf・m)

3. カムシャフト交換

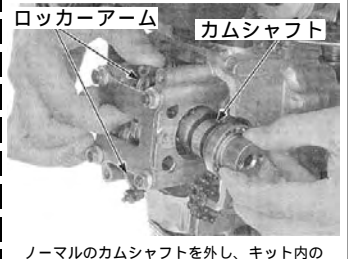


シリンダーヘッドに組み込まれているロッカーアームのタペットアジャスティングナットを緩め、タペットアジャスティングスクリューを反時計回りに回してタペットアジャスティングナットとタペットアジャスティングスクリューを一緒に外す。

使用工具
9mmメガネレンチ



ストッパープレートを取り外す。



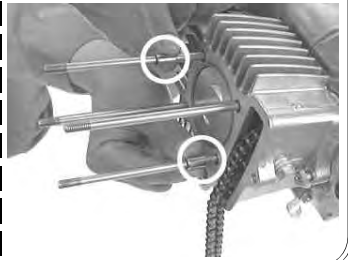
ノーマルのカムシャフトを外し、キット内のカムシャフトを取り外しと逆の手順で取り付ける。カムシャフト・カムシャフトベアリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。入りにくてもハンマー等でたたかず手を入れる。

ノーマルカムに付いていたノックピンをキットのカムに取り付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
ストッパープレートボルト
T = 12 N・m (1.2 kgf・m)

4. シリンダーヘッド取り付け

シリンダーヘッド面とシリンダー上面をシンナー等で脱脂する。

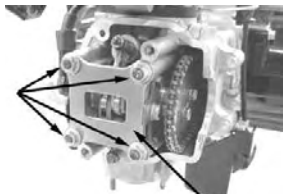




シリンダーにロックピンを取り付けヘッドガスケットを取り付ける。



シリンダーヘッドをカムチェーンとスタッドボルトを通して取り付ける。

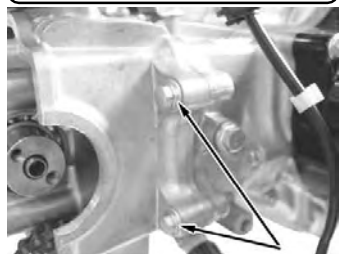


シリンダーヘッドプレート

シリンダーヘッドプレートを組み付け、ヘッドナットを均等に締め付ける。
(トルクレンチがない場合は対角に少しずつしっかり締める)

使用工具
10mmメガネレンチ

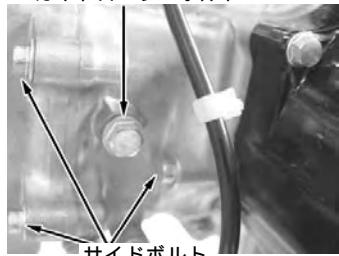
△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 14 \text{ N} \cdot \text{m} (1.4 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止めていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。

使用工具
8mmスパナレンチ
10mmメガネレンチ

ガイドローラーボルト



サイドボルト

△注意：必ず規定トルクを守る事。
ガイドローラーボルト
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$
サイドボルト上下
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

5. カムプロケットの取り付け

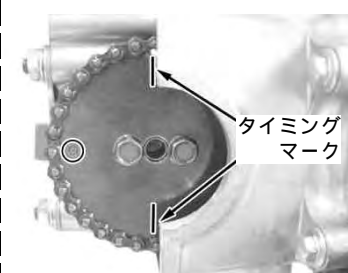


フライホイールのTマークをクランクケースの切り欠き部に合わせる。
カムプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けたときカム山がピストン側を向く様にカムシャフトをセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点です。



少しオイルが出てきますので締めた後は拭き取って下さい。

チェンジベダルシャフトの横にある六角ボルトを取り外す。カムチェーンテンショナーが緩むのでカムチェーンをはめ易くなります。



タイミングマーク

カムプロケットの・O'マークを前方方向に向け、タイミングマークをシリンダーヘッド側面に合わせ、各切り欠き部が合う様にカムチェーンを掛け、カムシャフトに取り付ける。



フライホイールを固定してカムプロケットボルトを2本締め付ける。

使用工具
8mmメガネレンチ
14mmボックスレンチ&中ロングジョイント

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 9 \text{ N} \cdot \text{m} (0.9 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

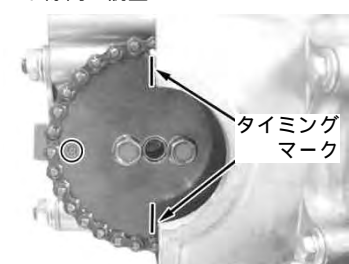


チェンジベダルシャフトの横に先程外したボルトを取り付け、締め付ける。

使用工具
10mmボックスレンチ&中ロングジョイント
10mmスパナレンチ

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

6. バルブタイミング調整とタベット隙間の調整

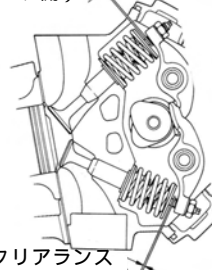


タイミングマーク



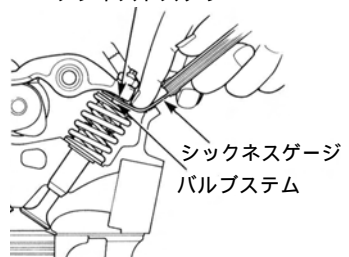
カムシャフトのOマークを前方に向け、タイミングマークをシリンダーヘッド側面に合わせ、各切り欠きに合う様に止める。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止まらないがカムプロケットとフライホイールが同時に合えばOK。

バルブクリアランス (インテーク側)



バルブクリアランス (エキゾースト側)

アジャストスクリュー



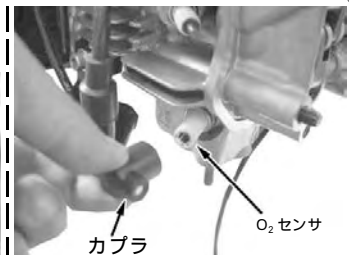
シックネスゲージ バルブシステム



ロッカーアームのタベットアジャスティングスクリューを締め込んでいきタベットアジャスティングスクリューとバルブシステムエンドの間にシックネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタベットアジャスティングナットを締め付ける。
IN側 0.10mm
EX側 0.12mm

使用工具
ラジオペンチ、9mmメガネレンチ

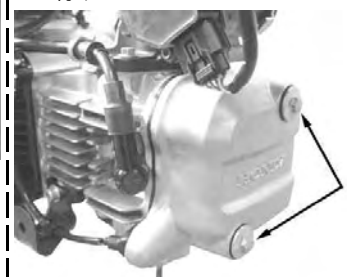
シックネスゲージ
14mmボックスレンチ&中ロングジョイントでクランクを合わせる。
タベット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転で回した後でTマークとOマークタイミングマークを合わせる。
タベットすき間が変化していないか点検し、すき間が合っていればOK、くるとしている場合は調整する。この作業を合うまで繰り返して下さい。



カブラ

O₂ センサのカブラを取り付ける。

7. シリンダーヘッドカバー取り付け



シリンダーヘッドカバーとガスケットを取り付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 12 \text{ N} \cdot \text{m} (1.2 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

8. スパークプラグの取り付け



車載工具がプラグレンチを使いプラグを取り付ける。
使用工具 プラグレンチ

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 16 \text{ N} \cdot \text{m} (1.6 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

プラグキャップをプラグに取り付ける。

9. ノーマルマフラーの取り付け



マフラーをブレーキベダルとステップの間に通し、フランジ部をシリンダーヘッドの排気出口付近まで持って行く。

マフラーガスケットをシリンダーヘッドとマフラーの間に挟み込む様に入れる。マフラー本体をピボットシャフトに取り付ける。マフラー本体を止めるナットを締める。(指で締める程度に仮止め)



EXパイプ部のナット2個を締める。(仮止め)
使用工具 10mmスパナレンチ



フランジ部と車体を止めるナットを締め付ける。
 使用工具
 14mmメガネレンチ
 リトルカブ 17mmメガネレンチ

△注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジ部
 $T = 10\text{N} \cdot \text{m} (1.0\text{kgf} \cdot \text{m})$
本体部
 $T = 36\text{N} \cdot \text{m} (3.5\text{kgf} \cdot \text{m})$

仮止めの三カ所を締め付ける。

10. インレットパイプの取り付け



シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト2本を取り付ける。
 使用工具 8mmメガネレンチ

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 10\text{N} \cdot \text{m} (1.0\text{kgf} \cdot \text{m})$



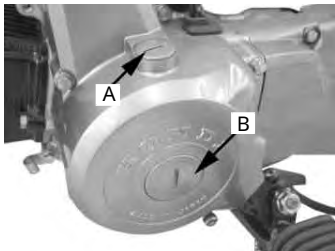
ホーンステーを取り付ける。
 使用工具 10mmメガネレンチ

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 10\text{N} \cdot \text{m} (1.0\text{kgf} \cdot \text{m})$

11. ホールキャップの取り付け

クランクケース左カバーを止めているボルト3本を取り付ける。
 使用工具
 8mmボックスレンチ&ショートジョイント

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 10\text{N} \cdot \text{m} (1.0\text{kgf} \cdot \text{m})$



A、Bの2つを取り付け、締め付けます。
 使用工具
 マイナスドライバ

△注意：必ず規定トルクを守る事。
A : $T = 1.5\text{N} \cdot \text{m}$
 (0.15kgf·m)
B : $T = 3\text{N} \cdot \text{m} (0.3\text{kgf} \cdot \text{m})$

チェンジベダルを取り付ける。
 使用工具 10mmメガネレンチ

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 10\text{N} \cdot \text{m} (1.0\text{kgf} \cdot \text{m})$

エンジンやマフラー、インレットパイプ等、今まで付けたボルト類に緩みがないか確認する。

12. ドライブ(エンジン側)スプロケットの取り付け



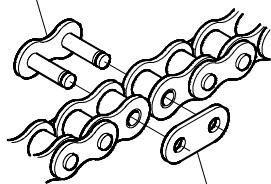
ドライブスプロケットカバー、チェーンカバー、ステップを取り外す。



クリップ

ドライブチェーンのクリップを取り外す。

マスターリンク



リンクプレート

リンクプレートとマスターリンクを取り外し、ドライブチェーンを取り外す。

作業の際は必ずエンジンを停止すること。



ボルト2本を取り外す。
 使用工具
 ボックスレンチ 10mm
 ショートジョイント



プレートを取り外す。



ノーマルのスプロケットをシャフトから抜き、チェーンを取り外す。



キットのスプロケットをシャフトに差し込む。



キットのプレートを取り付け、ボルト2本を仮止めする。
 リアアクスルナット、チェーンアジャスターのナットを緩めておく。
 マスターリンクを内側から取り付けてドライブチェーンを接続し、リンクプレートを取り付ける。



クリップ

進行方向

クリップを取り付けます。
 この時、クリップの合い口は進行方向に対して逆に向けること。



仮止めていたドライブスプロケットのボルトを本締めする。
 取り外したドライブスプロケットカバー、チェーンカバー、ステップを取り付ける。
 使用工具
 ボックスレンチ 10mm
 ショートジョイント

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 12\text{N} \cdot \text{m} (1.2\text{kgf} \cdot \text{m})$

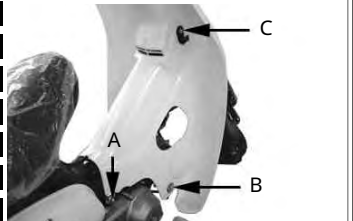
ドライブチェーンの調整を行う。

13. FIコントローラーの取り付け

FIコントローラーの取り付け要領に従い、コントローラーを取り付ける。

14. レッグシールドの取り付け

レッグシールドの後部からフレームに当て、それから前部をはめていく。



A部に12mmのふくるナットをレッグシールドとの間にプレートを挟んで締め付ける。B部に10mmの長ボルトをレッグシールドの裏にスペーサーを挟んで締め付ける。C部に10mmのボルトをワッシャを挟んで締め付ける。左側も同様に取り付ける。

使用工具

A : 12mmボックスレンチ & 中ロングジョイント
 B : 10mmボックスレンチ & 中ロングジョイント
 C : 10mmボックスレンチ

△注意：必ず規定トルクを守る事。
A : $T = 20\text{N} \cdot \text{m}$
 (2.0kgf·m)
B、C : $T = 10\text{N} \cdot \text{m}$
 (1.0kgf·m)



A



B



C

ご走行前に

1 お願い

一般公道を走行される場合は小型2輪以上の免許を取得し、市町村の役所もしくは市税事務所で原付2種への変更(注:登録手順は各市町村により異なる恐れがあります)を行い、道路運送車両法の保安基準を充たし、強制賠償保険及び任意保険の排気量変更の申請を行って下さい。

原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。
キット内の原付2種マークをお貼り下さい。

2 使用燃料について

燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

3 取り付け必要品として

本キットを取り付け走行するには以下の部品が取り付けが必要です。取り付けていない場合、保証の対象にはなりません。

3 1 オイルポンプ

出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。大量のオイルを循環し各部の冷却や負担を軽減するスーパーオイルポンプの装着は必要です。

必須スーパーオイルポンプ

品番:01 16 0051

3 2 クラッチ

ノーマルクラッチでは十分な対応が出来ず、滑りが生じエンジン出力をドライブ側に十分伝えることが出来ません。強化クラッチの装着は必要となります。

品番:02 01 0215 強化適心クラッチキット

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>



F I コントローラー 取扱説明書

(Monkey (F I) ・スーパーカブ (F I) ・リトルカブ (F I) 用)

商品番号：03-05-0019

適応車種及びフレーム番号

Monkey (F I) AB27-1900001～

スーパーカブ (F I) AA01-1700001～

リトルカブ (F I) AA01-4000001～

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
 - ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
- イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～ 特 徴 ～

純正 E C U の配線に割り込ませる事で、純正の扱い易さを生かしたままで、燃料噴射量を増量させる事の出来るサブコンピューターです。
F I 車に当社製 S - S t a g e を組み付けると、排気量アップに伴い燃調が狂いますが、本キットを取り付ける事で、純正コンピューターから出力される信号を元に、F I コントローラー内部の 1 6 B i t マイクロコンピューターが、取り付け車のエンジン状況を判断してリアルタイムに演算処理し、当社製 S - S t a g e に合わせて燃料増量補正し燃調を最適化します。
給排気系の変更にも対応出来るように、ロータリースイッチで 1 5 段階に燃料増量を調整する事が可能です。
純正コンピューターの最大噴射量以上の燃料噴射を可能としています。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
補修部品に付きましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。
本製品は純正 E C U の噴射回路に割り込ませて噴射時間を延長する商品です。
構造上、万一のトラブル時（本製品の故障や配線の不具合）には、燃料噴射がストップしてしまう可能性があります。
回転リミッターを解除する機能はありません。
本製品に入っている燃料噴射増量データは、当社の商品を取り付けた当社車両でテストした結果を元に作成したデータです。当社テスト車両と違う改造をしている場合や、他社製部品を併用している場合等には、本製品では良好なセッティングが出せない可能性があります。
また、当社製品を使用しているも、各部品の個体差、外的要因（気温や標高及びライダーの体格等）で、当社の意図するセッティングが出ない可能性もあります。
本製品は、当社製 S - S t a g e を装着した場合に、簡易的に燃料噴射量を増量する事で一般的な走行を可能にする為のサブコンピューターです。
あくまでサブコンピューターですので、全てのエンジン仕様において、必ずしも完全なセッティングが出せる事を保障する物ではありません。
また、エンジンの故障に関して保証するものでもありません。
お客様のご使用になられる車両で、セッティングが合っているかを必ず確認の上で走行して下さい。
以上の事を予めご理解頂いた上でご使用下さい。

ご使用にあたっての注意点

併用出来ない部品について。
社外品の H . I . D . キットはバラスト/インバーター（電圧変換装置）からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る場合がほとんどで、故障や動作不良の原因となりますので使用しないで下さい。
社外品の点火装置（イグニッションコイルやプラグコード）は点火電圧のアップに伴う、放射ノイズの増大により誤動作や製品故障の原因となりますので使用しないで下さい。
社外品の発電装置は充電力の不足により、バッテリー電圧の低下、制御電圧の不具合により故障の原因となりますので使用しないで下さい。
本製品は防水・防滴構造ではありません。
本製品は防水・防滴構造ではありませんので、雨や水がかかると、本体内に水が浸入し故障する可能性があります。
洗車時も同様にご注意下さい。本体に水が入ってしまった場合は直ちに使用を止めて下さい。
また、付属のスイッチ部分が透明のパネルを使用する際、湿度が高い時や急激な温度変化があった場合などに、本体が湿気を吸い込み、パネルの透明部分に曇りが発生する事があります。
本製品のボディーは樹脂製です。
劣化を防ぐ為に長期、野外にバイクを置く場合はカバー等をかけて下さい。炎天下の中など過酷な条件下で長期放置しますと、樹脂やゴム製部品の劣化や変形が考えられます。
絶対に分解しないで下さい。
大変危険ですので分解や改造を行わないで下さい。また、お客様で分解された場合、点検や修理をお受けする事が出来なくなりますのでご注意ください。
激しい衝撃を与えないで下さい。
オフロード走行やジャンプなど、本商品に強い衝撃が伝わる事は行わないで下さい。
衝撃により内部部品の脱落や断線による修理不能な故障や、本体ケース破損の恐れがあります。
お手入れについて
頑固な汚れがある場合は水に少量の中性洗剤を溶かし、ゆっくり丁寧に汚れを落として下さい。
揮発性のあるもの（シンナー・アルコールなど）やコンパウンドを使用すると、樹脂部分の変質の恐れや、パネルが曇ってしまいますのでご注意ください。

注意 この表示を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

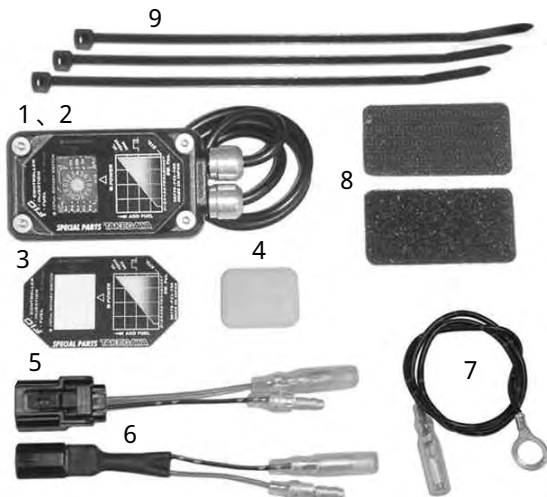
- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)

警告 この表示を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適切な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。ただし交換工賃等の一切の費用は対象となりません。正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
なお、レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。あらかじめご了承下さい。
この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

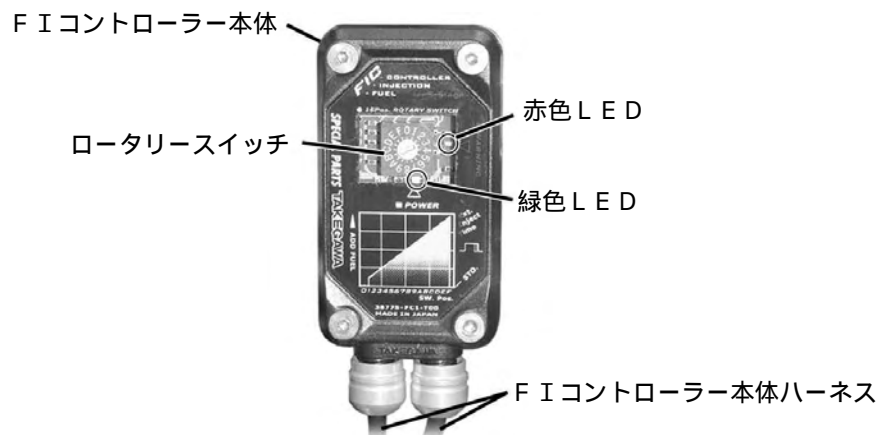
～商品内容～



番号	部 品 名	数量	リペア品番	入数
1	F I コントローラー A s s y .	1		
2	F I コントローラーパネル (スイッチ部 穴開き)	1	00 05 0044	1
3	F I コントローラーパネル (スイッチ部 透明)	1		
4	ラバーキャップ	1	00 05 0045	1
5	サブハーネス 1 C O M P .	1	00 05 0041	1
6	サブハーネス 2 C O M P .	1	00 05 0042	1
7	アースコード	1	00 05 0043	1
8	マジックテープセット	1	00 00 0150	1
9	タイヤラップ 150mm	3	00 00 0135	10

2 . F I コントローラーパネル (スイッチ部 穴開き) は、1 . F I コントローラー A s s y . に出荷時貼り付け済みです。
リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

～各部名称～



～取 り 付 け 要 領～

はじめに

本商品は、純正のPGM-FIシステムが問題なく作動している事を前提として開発されています。

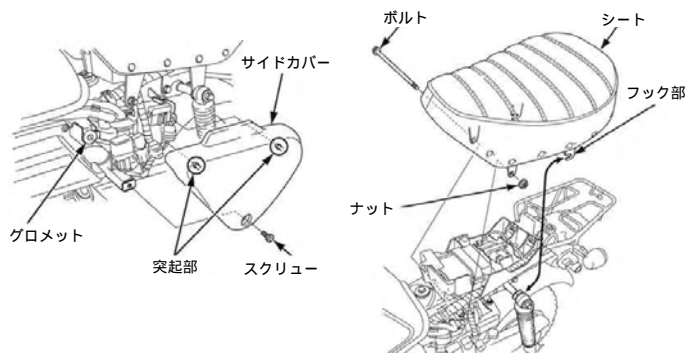
PGM-FIシステム自体にトラブルや不調がある場合は、本商品を取り付けても正しく作動しなかったり、性能が発揮できないばかりでなく、本商品をはじめ他の箇所が故障する原因にもなりかねませんので、必ずPGM-FIシステムにトラブルが無い事をご確認頂いた上で、取り付け・使用して下さい。

また、作業は水平で安全な場所でメンテナンススタンド等を用いて、車両をしっかりと安定させてから開始して下さい。

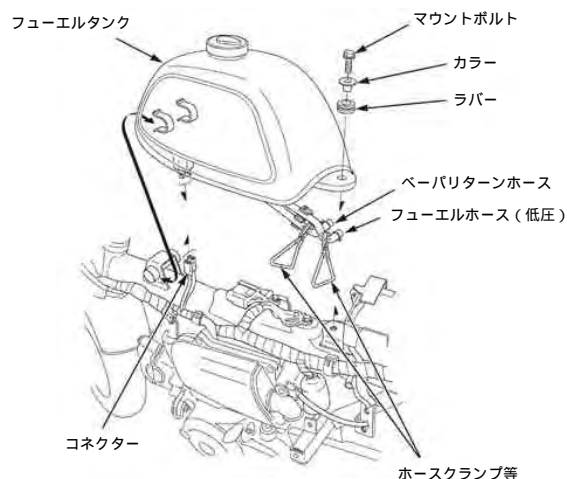


Monkey (FI) への取り付け

1. 純正サービスマニュアルを参照し、左サイドカバーを取り外します。
2. 純正サービスマニュアルを参照し、下記作業を行います。
左サイドカバーとシートを取り外します。



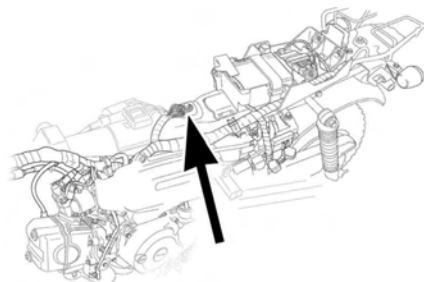
3. フューエルタンク下のフレームにアースコードを取り付けする為、フューエルポンプの後端を固定しているマウントボルトを取り外します。
フレームと同じくらいの高さの作業台を用意するなどすれば、フューエルタンクを外さずに取付け作業を行う事が出来ますが、フューエルタンクを外して作業する場合はサービスマニュアルを参照し、フューエルラインに掛かっている燃料圧力を抜いてから取り外して下さい。



⚠ 警告：ガソリンは非常に引火しやすい為、一切の火気を避け、燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。
又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

⚠ 注意：フューエルタンクを外さずに作業する場合、フューエルホースに無理な力が掛からないように作業を行って下さい。

4. 純正ハーネスのアース端子が、フレームの1箇所集合して接続されている部分（フューエルタンク下側）に、キット付属のアースコードを共締めし、コードをインジェクタ近傍までメインハーネスと共に這わせておきます。



5. インジェクタに接続されている純正ハーネスの2Pカプラの接続を外しておきます。

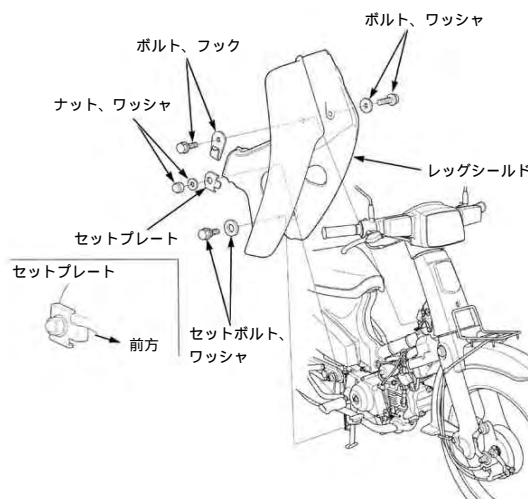


6. FIコンの配線接続へ進んで下さい。



FI - カブ / FI - リトルカブへの取り付け

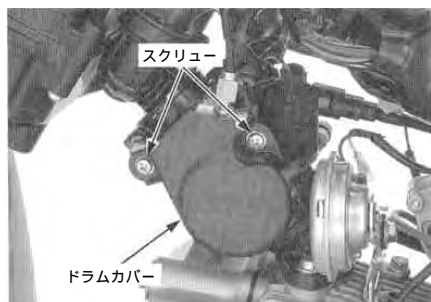
1. 純正サービスマニュアルを参照し、レッグシールドを取り外します。



2. キット付属のアースコードを確実にアースの取れる場所に共締めし、コードをインジェクタ近傍まで這わせておきます。



3. スロットルボディに取り付けられているスロットルドラムカバーの固定スクリーを2本を取り外し、カバーを取り外します。



4. ゴム製のカブラカバーを外し、インジェクタに接続されている純正ハーネスの2Pカブラを取り外します。



5. 取り外した純正ハーネス2Pカブラから出ているコード色を確認します。
キット付属のサブハーネス - 1 COMP. とコードの色が逆になっている場合は、下記手順に従ってコードの入れ替え作業を行って下さい。

△注意：コードの色が逆になったままではF Iコンに電源が入りませんので、エンジンは始動しません。

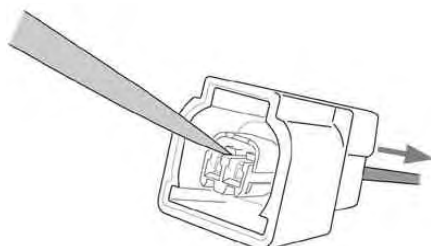
F Iカブ 車体側 2Pカブラのコード入れ替え手順

- a. 小型のマイナスドライバー等を用いて、純正カブラからリターナー（グレーのプラスチック部品）を取り外します。

△注意：コード入れ替えは**車体側**ハーネスです。サブハーネス - 1 COMP. ではありません。



- b. 細い針状の物等を用いて、純正カブラ内部のターミナルを固定しているツメを少しだけ起こしながら、カブラからコードを1本ずつ引抜きます。
この時、コード側のリターナーとラバーシールは外す必要はありません。



- c. 車体側カブラのコードをキット付属のサブハーネス - 1 COMP. とコードの色が同じ位置になるようにカブラへコードを挿し込み、リターナーを元通り押し込みます。

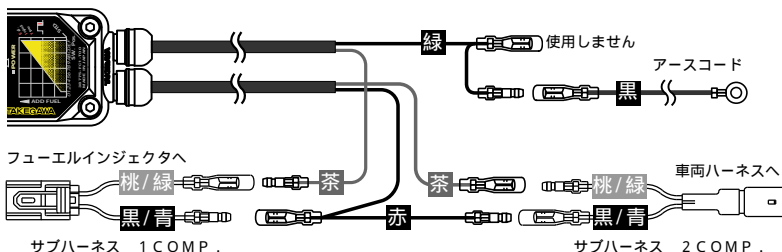


△注意：ターミナルの上下向きを間違えると、カブラーにターミナルが入って行きません。上下向きを間違えない様に挿し込んで下さい。

6. F Iコントローラーの配線接続へ進んで下さい。

F Iコントローラーの配線接続

1. 下図表を参照し、F Iコントローラーとサブハーネスのギボシ端子を接続します。



F Iコントローラーの配線	接続する配線
緑 (メスギボシ端子)	何も接続しません
緑 (オスギボシ端子)	アースコード
茶 (オスギボシ端子)	サブハーネス - 1 COMP. 桃 / 緑 (メスギボシ端子)
赤 (メスギボシ端子)	サブハーネス - 1 COMP. 黒 / 青 (オスギボシ端子)
茶 (メスギボシ端子)	サブハーネス - 2 COMP. 桃 / 緑 (オスギボシ端子)
赤 (オスギボシ端子)	サブハーネス - 2 COMP. 黒 / 青 (メスギボシ端子)

2. インジェクタに、サブハーネス - 1 COMP. のカブラーを接続し、純正ハーネスの2Pカブラに、サブハーネス - 2 COMP. のカブラを接続します。



3. F Iコントローラーのハーネスを車両ハーネスと共に這わせて、適宜キット付属のタイラップで固定し、サイドカバー内やシート下等雨や水が直接掛からない場所にF Iコントローラー本体を設置します。
設置する際、キット付属のマジックテープをご使用下さい。

4. 接続した配線が間違っていないか再度確認して下さい。

5. F Iコントローラー本体のスイッチ開口部を目視しながら、イグニッションスイッチをONにします。
スイッチをONにすると、スイッチ開口部にある緑色のLEDと赤色のLEDが点灯し、赤色のLEDは約1秒程で消灯する事を確認して下さい。

△注意：当社では出荷前に全数電源投入検査をしておりますので、上記の様にLEDが点灯しない場合は配線間違いが考えられます。すぐにイグニッションスイッチをOFFにして、配線の接続に間違いが無いが確認して下さい。

6. 取り外した外装品を、逆手順で元通り取り付けます。
 △注意：この時、F Iコントローラーのハーネスを挟みこんだりしない様に注意して下さい。
7. ご使用になられる車両の仕様にあわせて、本取扱説明書末尾の仕様別参考セッティングの表を参照し、目安となるセッティングデータにF Iコントローラー本体のスイッチを合わせてから、キット付属のラバーキャップをスイッチ部分の開口部に嵌め込みます。
 △注意：ラバーキャップは確実に取り付けして下さい。取り付け時に、ラバーがスイッチに乗り上げたりすると、ラバーキャップとF Iコントローラー本体パネル面に隙間が生じ、ラバーキャップの脱落や、隙間から埃や水などが浸入し、F Iコントローラー本体が故障する原因となります。



ラバーキャップとパネルについて

- ・F Iコントローラーのセッティングを行う際に、ロータリースイッチを回す時のみラバーキャップを取り外して下さい。
- △注意：ラバーキャップ無しで走行すると、埃や水などが浸入しF Iコントローラー本体が故障する原因となります。
 走行時は必ずラバーキャップを取り付けるか、後述のパネルを取り付けて走行して下さい。
- ・セッティングの必要が無くなれば、F Iコントローラー本体に出荷時に貼り付けてあるスイッチ部分が開いているパネルを剥がし、キット付属のスイッチ部分が透明の物に張り替えて頂く事で、防塵・防滴性能が向上し、無用のトラブルを防ぐ効果があります。
- △注意：パネルを貼り付ける際は、F Iコントローラー本体上面の8角の凹面内に、正確に貼り付けて下さい。
 凹面からずれて淵部分にパネルが乗り上げてしまうと、隙間から埃や水などが浸入し、F Iコントローラー本体が故障する原因となります。

F Iコントローラー の使用方法・セッティングについて

1. F Iコントローラーのセッティングは、本体のロータリースイッチ中央の黄色い部分を回転させる事で行います。
 スイッチを回す時は、先の細いマイナスドライバー等で、溝を潰さない様に注意して回して下さい。
 尚、セッティングの変更はエンジンがアイドリング中でも行う事が可能です。
 △警告：走行しながらのセッティング変更は、重大な事故の原因となりますので、絶対に行わないで下さい。



2. スイッチは、矢印形状になっている部分が指す数値もしくは文字が設定値となり、“0”の時はほぼ純正ECUと同じ噴射量（増量の無い状態）となります。“1”から順に“F”まで時計回りに回す程、燃料噴射量が純正ECUより多くなります。
3. 調整は無段階ではなく、0を含めた16段階調整です。必ずクリック感のある位置にして下さい。クリック感の無い中間位置等では正しく動作しません。
4. 緑色のLEDは、F Iコントローラー本体に電源が入っている事を示します。
 通常イグニッションスイッチがONで、F Iコントローラーが正常に動作していれば、緑色のLEDが点灯します。
5. 赤色のLEDは、イグニッションスイッチがONになった際に、自己診断プログラムが作動し1秒間点灯します。
 この時に赤色LEDが全く点灯しなかったり、点灯したままになる場合は、一旦イグニッションスイッチをOFFにし、10秒程度待ってから再度イグニッションスイッチをONにして下さい。
6. また赤色のLEDは、エンジン回転時フューエルインジェクタに無理の掛かる状態になった場合にも、警告灯として点灯するようになっています。
 例えば、エンジン冷間時においてスロットルを急開したりすると、もともと長めの燃料噴射時間をF Iコントローラーによりさらに延長する為、フューエルインジェクタが噴射したままの状態に陥る場合があります。
 この様な状態は、フューエルインジェクタ故障の原因となりますので、警告として赤色LEDがしばらく点灯します。
 エンジン回転中にはなるべく点灯しないように注意し走行して下さい。

車種・仕様別参考セッティング表

- ・下記セッティング表は全て、当社製S - Stageキット及びハイパーカムシャフトの装着が前提です。
- ・あくまで参考セッティングですので、外気温や標高、ライダーの体重などの外的要因により、ベストセッティングではない場合がありますので、予めご了承下さい。

Monkey (F I)

エンジン仕様		設定
純正エアクリーナーボックス	+ ノーマルマフラー	8
純正エアクリーナーボックス	+ 当社製 Zスタイルマフラー	9
純正エアクリーナーボックス	+ 当社製 ベーシックマフラー	8
当社製エアフィルターキット	+ ノーマルマフラー	7
当社製エアフィルターキット	+ 当社製 Zスタイルマフラー	B
当社製エアフィルターキット	+ 当社製 ベーシックマフラー	B

カブ (F I) / リトルカブ (F I)

エンジン仕様		設定
純正エアクリーナーボックス	+ ノーマルマフラー	7
純正エアクリーナーボックス	+ 当社製 ボンバーマフラー	C
当社製エアフィルターキット	+ ノーマルマフラー	9
当社製エアフィルターキット	+ 当社製 ボンバーマフラー	F

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857
 URL <http://www.takegawa.co.jp>

株式会社 SPECIAL PARTS 武川



スーパーカブ・リトルカブ (F I)

純正スロットルボディ用 エアフィルターキット 取扱説明書

商品番号：03-01-1107

適応車種及びフレーム番号

HONDA

スーパーカブ(F I) : AA01-1700001 ~

リトルカブ(F I) : AA01-4000001 ~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～ 特 徴 ～

スーパーカブ・リトルカブの F I 車専用に設計された形状により、純正スロットルボディにジャストフィットします。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、スーパーカブ・リトルカブの F I 車専用です。

スーパーカブ・リトルカブでもキャブレター車や、他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

ブローバイガス還元タイプの為、エンジンオイルなどによりフィルターが目詰まりし易いので、約 1000 km 走行毎に点検を行い、目詰まりした場合はフィルターを交換して下さい。

そのまま使用された場合、性能低下につながりますのでご注意ください。

補修部品に付きましてはリペア品番にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

注意 この内容を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
- ・このフィルターを取り付けての雨天走行は出来ません。(エンジン不調やトラブルの原因となります。)

警告 この内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後 1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

~ 商 品 内 容 ~



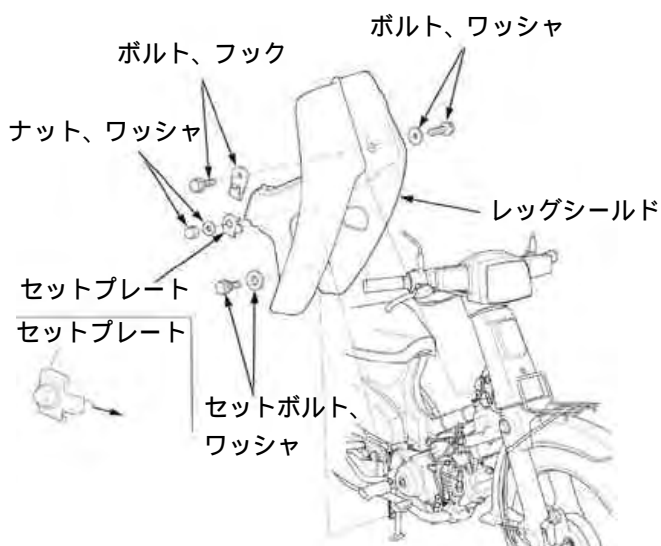
番号	部 品 名	数量	リペア品番	入 数
1	エアフィルター Comp.	1	—	1
2	フィルターパイプ	1	00-00-0280	1
3	クランプバンド	1	00-00-0014	1
4	Lジョイント 10mm	1	00-03-0207	1
5	ブレードホース 50mm	1	00-00-0049	1 set
6	ホースクランプ 13.1	2		

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

~ 取 り 付 け 要 領 ~

純正エアクリーナーケースの取り外し

1. 水平で安全な場所で、センタースタンドやメンテナンススタンド等を用いて車両を安定させます。
2. スクリュー・ナット類を取り外し、レッグシールドを取り外します。



3. スロットルケーブルをエアダクトの溝から取り外します。



4. クランクケースブリーザーホースの接続を外します。
5. スロットルボディ側のバンドスクリューを緩め、エアクリーナーケースをフレームに固定しているボルト2本を取外し、エアクリーナーケースを車両から取り外します。

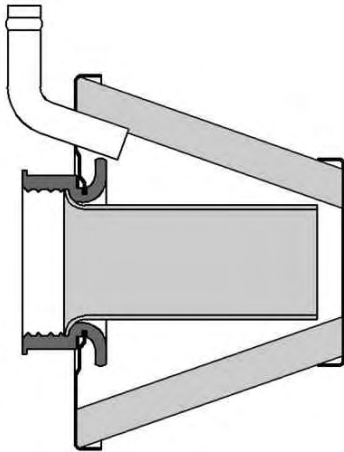


エアフィルターの取り付け

1. ご使用になる車両が、ノーマルエンジン（排気量が50cc）の場合は、必ずエアフィルターComp.内にキット付属のフィルターパイプを下図のように入れて下さい。

S - Stage組み込み済み車両の場合は、フィルターパイプの取り付けは不要です。

- △注意：ノーマルエンジンの場合は必ずフィルターパイプを取り付けて下さい。フィルターパイプ無しで取り付けられますと、エンジンに対して吸気効率が向上しすぎる為、空燃比が薄くなりすぎ、エンジンに損傷を及ぼす可能性があります。



2. エアフィルターComp.のラバーにクランプバンドを通してから、純正スロットルボディに取り付けます。
この時、フィルターキャップのTAKEGAWAロゴが水平になる様にして下さい。
3. 純正のクランクケースブリーザーホースに、キット付属のLジョイントを接続します。
この時、純正のホースクリップが取り付けられている事を確認して下さい。
4. 接続したLジョイントに、ブレードホース50mmを接続し、ホースクランプを2個通します。
5. ブレードホース50mmをエアフィルターComp.のホースユニオンに接続します。
6. フィルターの角度やホース類の取り回しを確認し、フィルターとスロットルボディを固定しているクランプバンドを締め付け、ホースクランプでブレードホースを固定します。

- △注意：フィルターは、しっかりと奥までスロットルボディに差し込んで下さい。

特にフィルターパイプを使用されている場合、差し込みが浅いと、フィルターパイプがフィルター内で動いてしまい、異音やアルミ粉が発生する原因となります。



7. レッグシールドを取り外した逆手順で元通り組み付けます。

参考セッティング

ノーマルエンジン車両の場合

エンジン仕様	FIコン設定
エアフィルターキット + ノーマルマフラー	FIコン不要
エアフィルターキット + 当社製 ボンバーマフラー	FIコン不要

- ・ノーマルエンジン車両に取り付ける場合は、必ず付属のフィルターパイプを取り付けて下さい。

S - Stageキット組み込み車両の場合

エンジン仕様	FIコン設定
エアフィルターキット + ノーマルマフラー	9
エアフィルターキット + 当社製 ボンバーマフラー	F

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>